



西院小の窓

学校だより「後期学校評価」特別号
平成28年 2月吉日
京都市立西院小学校校長 國重初美
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/sain-s/>

後期学校評価の結果から

12月にご協力いただきました「後期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。今回も児童・保護者の方々・教職員による評価を実施いたしました。保護者の方々には、全体の約89%の方から回答をいただきました（前期86%）。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かしていきます。

〈児童アンケートの結果から〉

- 学習に向かう姿勢を問う質問①～⑤に対して、肯定的な回答（「よくあてはまる」、「あてはまる」）の児童が、①③④⑤では80%以上いました。③「授業中、ペアやグループ学習で話し合うことで、新たな考えを知ったり、よりよい考え方を見つけたりしている」では、4%増加しています。全ての授業にペアやグループでの話し合いを積極的に取り入れてきた成果であると言えます。一方で、②「友達の考えをしっかりと聞き、自分の意見を話している」では7%減少し、自分の意見を学級全体で述べることには自信がないと感じている児童が多いことが考えられます。今後は、ペアやグループでの話し合いを生かして学級全体でも高め合える授業づくりや個別の支援について、研究を深めていきたいと思います。
- 主に生活習慣について問う質問⑥～⑫に対して、⑦⑧⑫は90%以上、⑥⑨⑩は80%以上が肯定的な回答をしています。⑦「自分や人、ものを大切にしている」では肯定的な回答が増加しています。12月の人権学習において「ともだち」について考えたことで、人を大切にする気持ちが高まったことが表れていると思われます。また、⑫「気持ちの良い挨拶をしている」への回答は、2%増加しています。「西院の子 心でつなぐ 5つの約束」の一つである「心のかよったあいさつ」を実践してきた成果と捉えることができます。身近な人とのよりよいかかわりの中で、豊かな心が育まれていくよう今後も実践していくと思います。

家で大切にしていること

①子どもの話をしっかりと聞いている。	75%	⑧家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。	65%
②家庭では、子どもとの対話を大切にしている。	81%	⑨忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣を付けている。	70%
③家庭では、子どものよさを認めて、励ましている。	77%	⑩基本的な生活リズムが身につくように条件を整え、家族で取り組んでいる。	68%
④子どもが物事に最後まで取り組めるように励ましの声かけをしている。	72%	⑪家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。	81%
⑤読書の時間を設けている。	25%	⑫日頃の学習の様子について聞いている。	63%
⑥子どもにも家族の役割分担をさせている。	51%	⑬学校から配られるプリント（学校だより、学年・学級だより・ホームページ等）は必ず見ている。	79%
⑦学習のことや学校での出来事について、子どもと一緒に話をしている。	81%	⑭参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。	65%

〈保護者から見た児童への評価結果から〉

（「家で大切にしていること」の回答結果も含む。）

児童の様子について「学校での様子」と「家庭・地域での様子」についてお答えいただきました。

「学校での様子」について

- 質問①～③のおもに授業中の姿については、肯定的な回答が前期と同じく80%を超えていました。とくに③「ペアやグループで話し合うことで、新たな考えを知ったり、互いに高め合ったりしている」においては、児童アンケート同様増加し、児童が頑張っていることが保護者の方々にも伝わっていると捉えることができます。一方で、質問④「わかるまで粘り強く学習している」については、肯定的な回答が前期と同じ69%と伸びていませんでした。帯時間（トライタイム）を活用して、基礎学力の定着を図ったり、児童が「わかった」「できた」と満足感が得られるように授業を工夫したりすることにより、児童が粘り強く学習していく様子が見受けられます。
- ⑥「自分や人・物などを大切にする気持ちや態度が育っている」での肯定的な回答結果が、児童アンケート同様、前期よりも2%増加していました。家庭での「子どもにも家族の役割分担をさせている」という項目に○が付けられている割合は全体の51%で前期の48%を上回っています。家族の一員として家族のために行動できることが自己有用感となり、他の人の思いやりへと繋がっていると考えられます。今後も、子どもたちの豊かな心が育まれるようにご家庭でも温かく見守っていただきますようお願いいたします。

「家庭・地域での様子」について

- ⑩「早寝・早起き・朝ごはん・はい便などに気を付けている」という項目については、児童アンケートと同様、3%減少していました。少しずつ就寝時間が遅くなっているようです。規則正しい生活習慣の確立と健康の維持は、学力をはじめとする様々な力の育成を支えるものです。学校でも健康の大切さについて日々児童に伝え続けたいと思います。
- ⑪「自分から気持ちのよい挨拶をしている」については、児童アンケートと同様、2%増加していました。家庭では「家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。」という項目は、○が付けられている割合が全体の81%で前期の75%を大きく上回っています。家庭や地域でも多くの方が挨拶をしていただく機会が増え、挨拶ができるようになってきていると捉えることができます。学校でも挨拶の大切さについて考えるとともに、自ら挨拶をしていく様子が見受けられます。

〈保護者による学校・教職員に対する評価結果から〉

- 今回も⑫～⑮のすべての項目で、肯定的な回答90%以上の高評価をいただきました。ありがとうございます。このような高評価をいただきましたが、何かと至らぬ点もあるかと思います。心配なこと、気になること等がありましたら、すぐに学校までご連絡ください。保護者・地域の皆様のご意見を大切にしながら、学校・学級での取組をより発展・充実させていきたいと思います。